

JBS、Windows Virtual Desktop の運用をアウトソースできるマネージドサービスを リリース、周辺システムの運用や仮想マシンの監視も含めて提供

日本ビジネスシステムズ株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：牧田幸弘 以下、JBS）は、「Windows Virtual Desktop（以下、WVD）」環境の運用アウトソーシングサービスをリリースしました。

クラウド VDI である「WVD」は、業務アプリケーションとの接続など、さまざまなシステムと連携して利用するため、多種多様な運用イベントや保守作業が発生します。複数環境でのログ取得や調査、各種ベンダーとの調整など対応範囲が多岐に渡ることから、全てを自社で運用するのは難しく、迅速にトラブル対応を行うにはノウハウや経験が必要不可欠となります。また、仮想マシンの場合、システム全体は正常に動作しているが、ある特定ユーザーだけパフォーマンスが低下しているなど、仮想マシン個々にトラブルが発生する場合もあり、ユーザーからの問い合わせ内容の切り分けが難しい側面もあります。

今回リリースしたマネージドサービスでは、その仮想マシン単位で発生しうる問題に対応するため、ユーザーの「WVD」利用状況（ユーザーエクスペリエンス）を可視化するツールも標準提供しています。

「Microsoft Azure」を始めとしたマイクロソフトのクラウドソリューションの経験および、その周辺システムの運用実績も豊富な JBS が「WVD」のご利用を支援し、皆さまの快適なリモートワーク環境をサポートします。

関連システムにも対応



WVD が連携している先のシステムも含めて確認できるチームで対応するため、障害時の各種切り分けなど速やかに対応し、問題解決に導きます。

見えない障害を防止



特定ユーザーのみパフォーマンス低下が起きているなど、システム稼働状況の監視だけでは見つけられない、見えない障害を可視化・防止します。

安心・確実な運用作業



WVD を中心とした周辺環境もお任せいただくことで、環境を熟知したチームによる的確な運用作業を実現し、作業時の業務影響を最小化します。

価格

初期費用：100万円

基本費用：

2,000円 / ユーザー（100ユーザー未満）

1,000円 / ユーザー（101～500ユーザー未満）

※但し契約は100ユーザー単位。500ユーザー以上はボリュームディスカウント有。

その他、詳しい価格やオプションメニューなどは以下のページをご覧ください。

<https://www.jbs.co.jp/solution/list/managedcloudforwindowsvirtualdesktop>

今後も JBS は、エンタープライズで培われた知見・技術力と日本マイクロソフトとの強いパートナーシップを活かし、お客さま企業のさらなるビジネス成長とデジタルトランスフォーメーションの実現を支援します。

参考

Windows Virtual Desktop で柔軟な PC 管理とセキュリティを実現する

<https://pages.jbs.co.jp/azure-solution-wvd.html>

※Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

※記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

※本プレスリリースのすべての内容は、作成日時点でのものであり、予告なく変更される場合があります。また、様々な事由・背景により、一部または全部が変更、キャンセル、実現困難となる場合があります。予めご了承下さい。